



平成28年11月18日

各 位

会 社 名 株式会社バリューゴルフ  
 代表者名 代表取締役社長 水口 通夫  
 (コード：3931 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役管理部部长 渡辺 和昭  
 (TEL 03-6435-1535)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向及び平成28年8月22日付で公表した「株式会社ジープの株式取得（子会社化）に係る株式譲渡契約書締結に関するお知らせ」を踏まえ、平成29年1月期通期の連結業績予想を精査した結果、平成28年3月15日に公表した平成29年1月期通期（平成28年2月1日～平成29年1月31日）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 業績予想の修正について

##### ○平成29年1月期 通期連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,225	221	220	132	78.26
今回修正予想 (B)	1,668	100	104	65	38.01
増 減 額 (B-A)	442	△120	△115	△66	-
増 減 率 (%)	36.1	△54.4	△52.5	△50.2	-
【参考】前期連結実績 (平成28年1月期)	997	130	129	94	69.35

#### 2. 修正の理由

##### ①売上高の修正について

###### (1) ゴルフ事業

当社の主力サービスである「1人予約ランド」を始めとするASPサービス、広告・プロモーションサービスについては期初計画のとおり順調な推移となっております。サポートサービスにおいては、期初計画において売上高の大きいゴルフ場の運営受託案件の契約を見込んでおりました。こちらにつきましては、利益率の向上を図るために、リスク・負担の大きい派遣・訪問形態（運営受託形態）から、1人予約ランドを始めとする当社サービスの新たな活用方法を使用した効率のよいサポート形態（WEBサポート形態）への転換に伴い、期初計画から80百万円減の42百万円と予想しております。

また、株式会社ジープを子会社化したことによる売上高の増加は652百万円を予想しております。

以上の結果、ゴルフ事業の売上高は、期初計画より572百万円増の1,429百万円と予想しております。

## (2) 広告メディア制作事業

新規クライアントの開拓が相手方の環境変化に伴い来期以降にずれ込んだため、期初予想を下回ったことや売上単価（制作単価）の減少により55百万円減の181百万円と予想しております。

## (3) メディカル事業

出版サービスにおける受注件数は堅調に推移しておりますが、納品が予定よりも遅れ気味になってきており、翌期にずれ込む恐れが出てきたため、期初計画よりも73百万円減の56百万円と予想しております。

以上の結果、売上高は1,668百万円と予想しております。

## ②営業利益の修正について

営業利益の主な変動要因は以下のようになっております。

### (1) 売上高の修正に伴う売上原価の変動

ゴルフ事業において515百万円の増加、広告メディア制作事業において11百万円の減少、メディカル事業において37百万円の減少を予想しております。

### (2) 株式会社ジープの子会社化に関連する費用の発生

株式取得に係る一時的な支出及びのれんの償却費等の発生により費用が60百万円増加すると予想しております。

### (3) 中長期的な成長を促進するための費用の発生

ゴルフ事業における「1人予約ランド」の更なる成長スピードを加速させていくための費用として、ゴルフ場のシステム連携費用、また利用者数を増加させるためのゴルフ場における販売促進費用として、20百万円増加すると予想しております。

さらに、新サービスの開始及びゴルフ場とのリレーションの更なる強化を推進していくために、営業部門の人員拡充を前倒しで行うことが有益であると判断したため、採用費及び人件費として、15百万円増加すると予想しております。

「1人予約ランド」を始めとするゴルフ事業において、さらなる優位性を築き中長期的な成長スピードを加速させていくためには、早い段階で先行投資を行うことが有益であると判断しました。そのため、来期以降に見込んでおりました費用を前倒しすることが最適であると考えております。

以上の結果、営業利益は100百万円と予想しております。

## ③経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について

営業利益の減少に伴い、経常利益は104百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は65百万円と予想しております。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって変動する可能性があります。

以上